

学芸員のひと休み

学芸員が思いのままにつづる、ミュージアムのこと、日々の仕事のこと。展示に直接携わる学芸員の言葉の中から、ミュージアムをもっと楽しむヒントを見つけてください。

CHAPTER 5 せんだい3.11メモリアル交流館

交流係 田澤絢子さん



交流館が建つ仙台東部沿岸地域の良いところは、四季がはっきりと感じられるところです。事務室の窓から見える田んぼの風景も季節ごとにさまざま、何やら面白いことをしている人を見かけると、思わず事務室を飛び出して話しかけてしまいます(笑)。春が近づくと、足元の雑草が色づきはじめます。じっくりと観察している方がいたので話しかけたところ、「足が悪くなった母の代わりに」と、草餅を作るためのヨモギを見極めながらあぜ道を散策していたのです。暖かくなってくると、田んぼの側を流れる堀は学校帰りの子どもたちの遊び場になり、ランドセルが道路に投げ出されている光景をよく見かけます。92歳のOさんは、自転車に乗って1時間かけてドジョウを取りにやってきます。「どうしてわざわざ?」と尋ねると、「戦地で食べたドジョウ汁が忘れられなくて」とのこと。「買うよりも、自分で捕まえたほうが楽しい」と、手作りの道具で奮闘していました。こうした、この地域の風土とともにある営みとの窓越しの出会いが、交流館に勤める私の楽しみです。



大人にとっても遊び場です!



さまざまな動物も遊びに来ます!

9月4日(火)～1月14日(月・祝) せんだい3.11メモリアル交流館を囲む風土展#3「竹であそぶ」



SMMAとは 知的情報資源である仙台・宮城地域のさまざまな博物館が協働することで、地域にとってより有益な機能を獲得していくための共同事業体です。各館の学芸員や専門職員が持つ知識やノウハウを集積し、分野を横断した連携イベント、学校教育への協力や地域で活動する人材の育成支援、観光資源の開発など、単館では実現困難な新たな価値の創出を行い、地域のニーズに合った新時代のミュージアムとなることを目指します。

WEBサイト 見験楽学 仙台・宮城ミュージアム情報局 SMMA参加館の学芸員をはじめ現場スタッフによるとっておきの情報や、地域のミュージアムならではの情報をお伝えします。地元のみならず、旅行で訪れた方々にもおおいに役立ち、楽しみながら発見や体験していただけるウェブサイトです。 www.smma.jp

発行・問い合わせ先: 仙台・宮城ミュージアムアライアンス事務局 仙台市青葉区春日町2-1(せんだいメディアテーク内) 電話: 022-713-4483 ファックス: 022-713-4482 電子メール: office@smt.city.sendai.jp ウェブサイト: <https://www.smma.jp> 編集/小原 瞳 デザイン/ANTWORKS イラスト/よしだみさこ 発行日/2018年7月20日 掲載した記事・情報は発行日の段階のもので、この紙はリサイクルできます

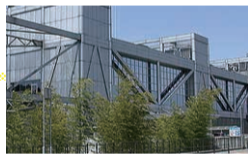
2018夏号 見験楽学 旬のミュージアム



ミュージアム de ブレイクタイム

SPOT スリーエム仙台市科学館

夏休みの自由研究の参考になる展示やイベントをさまざま開催。今夏開催の特別展「恐竜最前線」では日本の恐竜の実態とその最新研究を紹介するほか、ティラノサウルスやコリトサウルスなどの生態復元モデルや標本などの展示、スマートフォンを使ったクイズラリーやVR体験も。



☎ 仙台市青葉区台原森林公園4-1 022-276-2201 開 9:00～16:45(入館は16:00まで) 休 月曜(祝日の場合は翌平日)、祝日の翌日(日曜を除く) 料 一般540円、高校生320円、小・中学生210円

レストラン ウイング

科学館4階にあるカフェレストラン。ラーメンやそば、うどんなどの麺類やカレー、ホットケーキなどの軽食をリーズナブルな価格で提供。食事だけではなく、ドリンクやソフトクリームもあるので見学中のひと休みにもぴったりです。

開 10:00～15:30(土・日曜、祝日、学校長期休業期間は～16:30) ※ラストオーダーは30分前。食事メニューは11:00～14:30の販売



▲ソフトクリーム 300円



▲醤油ラーメン 550円



▲スペースアイスクリーム いちごアイス 648円、スペースフード チキンライス 540円



▲化石 アンモナイト1620円、サメの歯1080円、三葉虫1296円



▲二宮康明 ホワイトウィングス 540円

7月21日(土)～8月26日(日) 特別展 恐竜最前線



たまむし さだゆう 玉蟲 左太夫 (1823～1869)

SMMA参加館ゆかりの人物にせまります。人を知って、收藏品をもっと身近に、もっと楽しく。



玉蟲左太夫画像 仙台市博物館蔵

独自の観察眼が光る 仙台藩のジャーナリスト

今年には戊辰戦争から150年を迎える節目の年。戊辰戦争中に仙台藩の窓口として他藩と交流し、列藩同盟の議事をとりまとめた中心人物が玉蟲左太夫です。玉蟲を語るうえで注目したいのが、そのジャーナリズム精神。安政4(1857)年に幕府の箱館奉行・堀利熙に記録係として随行し蝦夷地を巡視した記録『入北記』では行程や蝦夷地の地理、文化・民俗から自らの体験に至るまでを克明に記録しています。時には現地役人により蔑まれていたアイヌ民族の支配実態などを記して批判することも。先入観ではなく、自分の価値観で著した記録が評価され、万延元(1860)年の渡米へとつながりました。



奥羽越列藩同盟旗 宮坂考古館蔵



航米日録 仙台市博物館蔵

世界を見つめた藩士

日米修好通商条約の批准のため幕府使節団に随従して渡米し世界一周した際は、持ち前の行動力で工業や政治などに見聞を広め、文化施設なども可能な限り見学して『航米日録』を執筆。自然や船中でビールを飲んだエピソードまでも記した記録は、数ある遣米使節記の中でも高く評価されています。世界を見たことで、国内の分裂をさけて国力を高めるべきという想いをもった玉蟲でしたが、戊辰戦争の渦中へと身を投じることとなり、藩の降伏後は牢獄へ。しかしながら、牢中においても探求心を捨てず、密かに家族と手紙を交わして世間の情報を集め続け、その生きざまを最期まで貫きました。仙台市博物館では10月26日(金)から12月9日(日)まで特別展「戊辰戦争150年」を開催。奥羽越列藩同盟を中心に、東北地方の戊辰戦争の関係資料が一堂に会する貴重な機会です。玉蟲が駆け抜けた幕末の仙台の歴史を見つめてみてください。

ここでもっと知る!

仙台市博物館 仙台市青葉区川内26 022-225-3074 開 9:00～16:45(入館は16:15まで) 休 月曜(祝日の場合は翌平日) 常設展/一般460円、高校生230円、小・中学生110円 特別展「戊辰戦争150年」/一般・大学生1,000円、高校生500円、小・中学生400円 ※特別展料金にて常設展もご覧いただけます。